

平成 19 年 度

# 那須烏山市予算の概要

平成 19 年 2 月

那 須 烏 山 市

# 平成19年度 那須烏山市予算の概要

## I 予算編成にあたって

本市の財政状況は、歳入については、三位一体の改革による税源移譲に伴い市税収入は増収が見込まれるものの、地方交付税制度の抜本の見直しが予定され、地方交付税に大きく依存している本市にとって、先々の見通しが極めて不透明であり、歳入の確保が厳しい状況にあります。また、歳出については、合併関連経費の確保や、少子高齢化に伴う扶助費や繰出金及び公債費が増嵩し、引き続き厳しい財政運営を強いられています。

このような中で、市民福祉の向上と公平で安心な行政サービスを維持するとともに、保健、福祉、医療への対応、さらには地域経済の活性化など新たな課題にも積極的に取り組むことが求められています。

このため、平成19年度の予算編成に当たっては、合併2年目であることから新市建設計画に基づき、那須烏山市としての一体感の醸成と均衡ある発展を図ることを念頭におき、事務事業の抜本的な見直しに配慮し編成しました。

## II 予算概要

平成19年度的那須烏山市一般会計予算額は106億円で、前年度と比較すると1億円、1.0%の増となりました。

また、一般会計と7つの特別会計の総額は194億8,840万円となり、前年度と比較すると3億920万円、1.6%の増となりました。

7つの特別会計では予算総額は88億8,840万円となり、2.4%の増となります。主なものでは、国民健康保険特別会計（事業勘定）が33億5,040万円、3億4,660万円、11.5%の増、老人保健特別会計が27億8,610万円、3.5%の減、介護保険特別会計が19億5,100万円、1.3%の減と、高齢化社会の到来の影響から、全体として医療給付費等が増える傾向を示しています。

## III 一般会計歳入予算について

歳入については、地方交付税及び地方譲与税が減額となったものの、税源移譲や定率減税の廃止などの税制改正に伴い市税が増収となるとともに、合併関連の道路整備事業に伴う国庫支出金及び市債が増額となりました。

歳入の主な項目では、市税については、定率減税の廃止等に伴い個人市民税の増、法人市民税は企業業績回復による増等を見込み、前年度比3億3,222万5千円、12.5%増の29億9,874万6千円を計上しました。

地方譲与税は、所得譲与税が所得税から個人住民税への税源移譲に伴い、廃止となることから2億4,200万円減の1億7,500万円といたしました。

地方交付税は、国の総額が対前年度比で4.4%減少するとともに、合併に係る算定分の減額等の影響を精査し、前年度と比べ1億4,600万円、3.8%減の37億円を計上いたしました。

一方、国庫支出金は、道整備交付金及び地方道路交付金等の新規交付金を計上したため、前年度より1億6,277万4千円の増加となりました。

繰入金については、前年度に引き続き、財源不足分を財政調整基金から繰り入れることとし、前年度と比べ8,788万円減の3億8,272万5千円を計上しました。

市債は、前年度より1億1,610万円多い8億4,200万円で、その要因は市道整備等に伴う合併特例債4億4,920万円の発行によるものであります。

---

---

#### IV 一般会計歳出予算について

---

---

本年度の歳出予算は、新市建設計画に基づき選択と集中により、合併関連経費を優先的に計上するとともに、少子高齢化対策及び学校統合を中心とした教育の充実に配慮し、合併効果を最大限生かした編成を行いました。

総務費は、前年度と比べ4,590万2千円(3.8%)の減となっています。これは評価替に伴う土地鑑定評価委託料の増があったものの、職員の退職等に伴う職員人件費の減を見込んだことによるものであります。

民生費は、5,425万3千円(1.9%)減の28億5,183万1千円となっています。これは国民健康保険特別会計繰出金及び生活保護扶助費等の減によるものであります。

衛生費は、9,174万6千円(7.4%)の増となっています。主な要因は那須南病院及びごみ処理費に係る広域行政負担金の増を見込んだことによるものです。

農林水産業費は、前年度と比べ1億5万円(14.0%)減の6億1,499万3千円となっています。これは畜産基盤整備事業費の減額によるものであります。

土木費は、4億1,786万5千円(59.8%)増の11億1,717万7千円となっています。これは道整備交付金及び合併特例債を活用した道路整備費を計上したことにより、大幅な増となったことによるものです。

教育費は、前年度と比べ1億875万1千円(8.6%)の減となっています。これは学校統合関連費が増となったものの、広域行政負担金の減や烏山公民館駐車場及び烏山運動公園体育館解体舗装工事が完了したことによるものです。

---

---

## V 性質別経費の状況

---

---

人件費は、前年度と比べ1億1,922万8千円(4.5%)の減となっています。これは職員数の削減、管理職手当の削減、時間外手当及び通勤手当の見直し等によるものです。

物件費は、9,037万2千円(7.3%)減の11億5,355万円となっています。これは臨時職員等の削減による賃金の減、その他経費節減に伴う需要費などの減によるものです。

補助費等は、前年度と比べ6,351万8千円(3.8%)の増となっています。主な要因は広域行政負担金の増によるものです。

普通建設事業費は、前年度と比べ2億7,735万3千円(33.3%)増の11億1,097万円となっています。これは畜産基盤再編総合整備事業費が減になったものの、道整備交付金及び合併特例債を活用した道路整備費を新たに増額計上したことによるものです。

繰出金は、前年度と比べ2,112万4千円(1.7%)減の12億3,725万5千円となっています。これは老人保健、農業集落排水、下水道、簡易水道事業特別会計及び水道事業会計の増があったものの、国民健康保険、熊田診療所及び介護保険特別会計への繰出金が減となったことによるものです。

---

---

## VI 主な施策

---

---

- ◎ 行財政改革の推進
- ◎ 合併関連事業の推進
- ◎ 少子高齢化対策の充実(子育て支援、高齢者福祉の充実)
- ◎ 教育環境の整備
- ◎ 攻めの行政の推進

\*は新規(一部新規含む)

■ 豊かな自然に囲まれた「暮らしやすく訪れやすいまち」の実現

* 合併特例事業を活用した道路整備事業 (野上愛宕台線、都市計画街路公園通線、谷浅見平野線、野上神長線ほか)	6億2,000万円
* 地域情報政策費(地域情報化計画策定)	212万1千円
・防犯施設整備費	90万円
・都市計画マスタープランの策定	364万9千円
・浄化槽設置整備費	5,215万5千円
・水道事業会計繰出金	1億910万7千円
* ふれあいの道づくり事業	500万円

■ 健康で安心して暮らせる「人にやさしいまち」の実現

*各種医療費助成事業（自己負担1レセプト500円補助） （重度心身障害者、ひとり親家庭、妊産婦、こども医療費）	6 2 6 万 6 千円
*特定不妊治療費助成（15万円 5年）	9 0 万円
*母子健診の充実（妊婦健診2回→5回まで助成）	1, 0 0 7 万 1 千円
*母子健康相談事業の充実（妊婦サロン、ことばの情緒相談室）	1 4 万 3 千円
*障害者自立支援助成事業（個人負担の1/2補助）	2 0 0 万円
*子育て支援の充実（学童保育の七合小開設及び境地区、七合地区の送迎実施）	2, 2 3 2 万 4 千円
・後期高齢者医療制度事業費	2, 0 0 3 万 5 千円
・高齢者福祉の充実（敬老会、福祉年金等支給）	2, 3 2 0 万 4 千円
・高齢者生きがい対策の充実（老人クラブ、福祉バス運行等）	1, 4 5 7 万 8 千円

■ 個性と魅力ある「教育・文化環境を育むまち」の実現

・学校統廃合の推進	2 5 1 万 7 千円
*烏山小学校スクールバス運行	2, 4 4 0 万円
・サタデースクールの実施	5 5 0 万 5 千円
・外国語指導助手（ALT）招致事業	1, 4 4 0 万円
・郷土教育の推進	1 1 3 万円
*家庭教育支援センター管理費	1 5 9 万 9 千円
*烏山体育館屋根修繕事業	9 0 0 万円

■ 21世紀にふさわしい「産業・雇用を育むまち」の実現

・畜産基盤再編整備事業の推進	1 億 4, 7 0 8 万 5 千円
・農地振興費	1, 0 1 6 万 9 千円
・県単独土地改良事業	2, 7 3 7 万 2 千円
・農林水産特産物開発事業	8 0 万円
・県営ふるさと農道整備事業	2, 1 9 0 万円
*林道整備（神長滝田線）	1, 5 0 0 万円
・県営圃場整備事業	3, 0 1 2 万円
・企業誘致の推進	7 0 万 6 千円
・まちづくり産学官連携事業	1 4 0 万円
・新事業創出支援事業	3 1 4 万 2 千円
・商工振興資金貸付事業	7, 2 4 4 万 6 千円
*ふるさと観光資源活性化事業	1 0 0 万円

■ 自然や環境を大切に守り「次代へつなぐまち」の実現	
・自然環境の保全、活用（全市花構想の推進）	80万円
*環境基本計画策定	270万2千円
・ゴミ減量化推進費	64万4千円
・塵芥収集処理事業	3億8,617万5千円
■ 地方分権時代に対応できる「自立したまち」の実現	
・総合計画の策定	457万8千円
・まちづくり団体支援事業	240万円
*市の花、木、鳥、魚の制定	3万6千円
・行財政改革の断行（職員数の削減、補助金・交付金の見直し）	2億401万円

---



---

vii その他

---



---

1 合併特例債事業	
・道路新設改良事業	6億2,000万円
（野上愛宕台線・鴻野山小倉線・都市計画街路公園通り線・谷浅見平野線・野上神長線・山の根下平井線・富士見台工業団地線・田野倉大金線・高瀬森田線・熊田月次線・志鳥東線・大桶小志鳥境線）	
・林道整備事業（神長滝田線）	1,500万円
・水道事業出資（平野簡水統合）	2,050万円
・防火水槽整備事業	640万円
合計	6億6,190万円（特例債 4億4,920万円）
2 基金繰入金	
・財政調整基金	3億8,000万円
（平成19年度末残高見込み1億927万円）	
・奨学基金	72万円
（平成19年度末残高見込み3,406万円）	
・富士見台工業団地管理基金	200万円
（平成19年度末残高見込み4,009万円）	
3 市債	
・農道整備事業債	1,960万円（臨時地方道債）
・林道整備事業債	870万円（合併特例債）
・道路新設改良事業債	4億1,400万円（合併特例債）

・辺地対策事業債	4,000万円 (辺地債)
・消防施設整備事業債	920万円 (合併特例債外)
・臨時財政対策債	3億3,000万円
・水道事業出資債	2,050万円 (合併特例債)
計	8億4,200万円

4 一般会計市債残高 (19年度末見込) 120億5,022万2千円

5 特別会計繰出金

・国民健康保険特別会計 (事業勘定)	3億3,069万5千円	(うち財政補てん分1億7,743万5千円)
・国民健康保険特別会計 (診療施設勘定)	216万1千円	
・老人保健特別会計	2億3,625万7千円	
・介護保険特別会計	3億62万4千円	
・農業集落排水事業特別会計	3,011万1千円	
・下水道事業特別会計	2億77万9千円	
・簡易水道事業特別会計	2,711万円	
・水道事業	1億910万7千円	
計	12億3,684万4千円	

6 特別会計及び企業会計

(1) 国民健康保険特別会計 (事業勘定)

・予算額	33億5,040万円	11.5%増
・被保険者数	14,154人 (6,628世帯)	(年平均見込み)
・国民健康保険税	10億4,860万8千円	
・保険給付費	21億5,728万円	
・一般会計繰入金	3億3,069万5千円	
	(うち財政補てん分1億7,743万5千円)	

(2) 国民健康保険特別会計 (診療施設勘定)

・予算額	9,510万円	1.1%増
・診療収入	8,354万2千円	
・総務費	5,099万6千円	
・医業費	3,889万9千円	
・一般会計繰入金	216万1千円	
・市債残高 (19年度末見込)	1,530万9千円	

(3) 熊田診療所特別会計

・ 予算額	6, 300万円	10. 6%減
・ 診療収入	4, 985万円	
・ 総務費	4, 286万6千円	
・ 医業費	1, 860万6千円	
・ 運営基金繰入金	1, 284万1千円	

(4) 老人保健特別会計

・ 予算額	27億8, 610万円	3. 5%減
・ 受給者数	4, 720人	(年平均見込み)
・ 医療給付費等	27億7, 227万1千円	
・ 一般会計繰入金	2億3, 625万7千円	

(5) 介護保険特別会計

・ 予算額	19億5, 100万円	1. 3%減
・ 認定者数	1, 145人	(平成19年1月末)
・ 保険料	3億1, 728万1千円	
・ 保険給付費	18億5, 475万1千円	
・ 地域支援事業費	2, 297万	
・ 一般会計繰入金	3億62万4千円	

(6) 農業集落排水事業特別会計

・ 予算額	5, 340万円	1. 7%減
・ 使用料	1, 053万8千円	
・ 総務費(維持費)	1, 937万2千円	
・ 一般会計繰入金	3, 011万1千円	
・ 市債残高(19年度末見込)	4億114万8千円	

(7) 下水道事業特別会計

・ 予算額	4億5, 000万円	0. 3%減
・ 下水道事業負担金	1, 771万6千円	
公共下水道	1, 541万4千円	
特定環境保全下水道	230万2千円	
・ 使用料	3, 091万2千円	

公共下水道	8 6 1 万円
特定環境保全下水道	2, 2 3 0 万 2 千円
・ 総務費（維持費）	8, 5 9 3 万 9 千円
・ 事業費	1 億 8, 2 7 9 万 1 千円
公共下水道	1 億 5, 7 9 2 万 4 千円
特定環境保全下水道	1 7 4 万 8 千円
・ 一般会計繰入金	2 億 7 7 万 9 千円
・ 市債残高（1 9 年度末見込）	2 7 億 8, 2 8 0 万 8 千円

(8) 簡易水道事業特別会計

・ 予算額	1 億 3, 9 4 0 万円	1. 5%減
・ 水道収入	1 億 9 6 1 万円	
・ 総務費（維持費）	5, 1 0 2 万 8 千円	
・ 施設整備費	6 9 万円	
・ 一般会計繰入金	2, 7 1 1 万円	
・ 市債残高（1 9 年度末見込）	7 億 3, 6 9 1 万円	

(9) 水道事業

・ 水道収入	5 億 9, 0 1 7 万 9 千円
・ 配水管敷設等整備費	1 億 6 7 8 万 3 千円
・ 一般会計繰入金	1 億 9 1 0 万 7 千円
・ 企業債残高（1 9 年度末見込）	5 0 億 5 9 0 万 4 千円